区分31	専門分野 血液学的検査	授業科目名	血液検査学	単位数	1単位 （20時間）
開講時期	3年　前期・後期	担当教員	今村　文章	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

三菱病院に5年間、諫早総合病院に34年間、合計39年臨床検査技師として勤務。その間、血液検査を専門として臨床実務を経験。その間、日臨技血液検査研究会の全国委員、平成8年からは班長を務めた。平成4年からは本校の非常勤講師として血液学を担当して以来33年目となる。

◆授業の目的・目標

国家試験に必要な知識について、1年次、2年次、3年の臨地実習等で学んだ知識と技術を再度まとめ、知識の総整理を行い特に過去門の重要性を説きながら国家試験合格を目指す。

◆授業の概要・授業方針

最終目標である国家試験の過去問から得られる重要ポイントを押さえながら、学生の疑義・質問を重視し、個々の知識を引き上げる。

◆テキスト・参考資料等

基本は教科書であるが、各社の過去問集などを活用する。

◆成績評価の方法

卒認試験

授業計画		チェック欄
第1回	基礎（造血、組成、性状、機能、検体採取と保存）	
第2回	血球（赤血球・白血球・血小板）、血球に関する検査	
第3回	止血機構（血管と止血・血小板の機能）	
第4回	凝固機構（凝固機序と凝固因子・凝固制御）	
第5回	線溶機構（線溶機序と線溶因子・線溶制御）	
第6回	血液検査結果の評価（赤血球＝貧血・多血症）	
第7回	血液検査結果の評価（白血球＝形態異常・機能異常・増加症・減少症）	
第8回	血液検査結果の評価（血小板＝減少症・増加症）	
第9回	血液検査結果の評価（凝固系・線溶系・血管異常）	
第10回	総合	